

広報うちこ

UCHIKO 12

December 2022

vol.302

あなたとまちをつなぐ
ふるさと情報誌



◎特集

my life *Today*
あなたは今日をどう生きますか

ぼくの夢 わたしの夢

鬼塚 ^{みおり} 滯里さん 内子小学校6年(内子18第2)

自分らしく踊るダンサーになって いつかオリンピックに出てみたい

私は1年生の時からブレイクダンスを習っています。曲を聴いてステップや逆立ちなどを組み合わせる即興のダンスです。人によって踊り方は全然違います。音に合わせるのが難しいけれど、少しずつ自分なりに技をつなげられるようになってきました。きれいに技が決まったときは気持ちいいです。

ブレイクダンスには技を競い合う大会があります。10月の大会では緊張して力を出し切れずに負けてしまい、悔しい思いをしました。先生に教わった「考え過ぎずに楽しく踊ること」を忘れずに、もっと技を練習して自分らしくのびのびと踊り切れるようになりたいです。憧れているのは世界で活躍するAmiさん、Ayumiさんというダンサーです。どちらもオリジナリティがあって、見ていて勉強になります。2人のようなダンサーになって、いつかオリンピックに出るのが私の夢です。



CONTENTS 目次

UCHIKO vol.302 広報うちこ 2022年12月号

- 2 ぼくの夢 わたしの夢／目次
- 3 特集 my life Today —あなたは今日をどう生きますか—
- 16 まちのニュース 内子座晩餐会／内子町読書活動研究集会 他
- 18 うちこ往来 一輪車体験事業／林業まつり／五十崎文化祭 他
- 20 みんなのひろば
リレーエッセイ／はじめてのバースデー／人☆キラリ／HELLO!!! 他
- 24 図書館へ行こう
- 25 ゆうていあ Vol.260
- 26 町からのお知らせ 年末年始の業務のお知らせ／令和5年度園児募集 他
- 31 暮らしの情報 新春俳句大会／うちこ福祉館の行事案内 他
- 33 社協だより Vol. 5
- 34 健康カレンダー／お元気ですか／人のうごき／相談／当番医
- 36 住人十色

COVER

—— 表紙の写真 ——



●龍王公園の「龍王の砦」近くにあるイチョウ並木で撮影しました。手をつないでうれしそうに走るのは、3歳の酒井明莉ちゃんと古川楓菜ちゃんです。イチョウの葉っぱで黄色に染まった地面に「きれいだね」と目を輝かせていました。かわいい青い洋服がアナと雪の女王の登場人物のようで、一足先に冬の訪れを感じることもできました。

コロナ禍やウクライナ危機などによって、私たちの社会は急激な変化を続けています。そんな中、変わらない笑顔で接客をする奥嶋ハル子さん（左）。田渡地区の土曜市「およりんか」でメンバーの皆さんと一緒に野菜などを販売しています。大正15年から96年間、波乱万丈の人生を歩んできましたが、「時代時代に合わせて一生懸命生きたらいい」と笑います。今回の特集では、こんな時代だからこそ大切にしたいこと、子どもたちに伝えたいことを考えます。あなたは今日をどう生きますか？ どんな姿を未来を担う子どもたちに見せたいですか——

my life *Today*

あなたは今日をどう生きますか





地域に親しまれてきた大榎を振り返る

1,2_いかに大風合戦の歴史も見続けてきた大榎。風が引くのはご愛嬌 3_毎年1月に開催されるシクロクロスの大会ではコースの一部となっていた 4,5_子どもたちに人気のイベント「大きな榎の木の下で」。榎がデザインされたケーキや寒い中でごみを拾った思い出を忘れないでほしい 6_ライトアップされた大榎

数百年も小田川を見守ってきた町のシンボルが折れた日――



無常の世だから、今こそ伝えたい

当たり前にならずとあると思っていたものが、突然になくってしまう驚きと寂しさ――町の天然記念物「豊秋河原のエノキ」の今の姿が、それをシンボルとして活動してきた人々に衝撃を与えています。

「大きな榎の木の下で」の小野代表は寂しがりながらも、今だからこそ変化を恐れず、大切なことを伝えるために動く時と意思を語ります。

目的は守ることではなく
子供たちに語り継ぐこと

「大きな榎の木の下で」代表
小野里枝美さん（昭和）

「町のシンボルだから、無くなるのは寂しい」と話す小野里枝美さん。20年ほど前から「大きな榎の木の下で」という会に参加し、今は代表を務めています。会と同名のイベントが始まったのは30年前。全盛期は180人も参加者がありました。「私が参加を始めた当時から環境配慮型のイベントで、スプーンや皿を持参して、ごみを出さないようにしていた。途中から河川の清掃活動も始めたので、きれいな景色とおいしい食事と合わせて、子どもたちのいい思い出になればいいなと思っていた」と振り返ります。

毎年12月のイベント開催日には、大榎のライトアップの点灯式も行っています。豊秋橋からも見える、冬の風物詩です。成人式もある時期だからと加える小野さん。大人になる子どもたちに向けて「ふるさととは変わっ

環境保護のシンボルの存在
今年9月6日、町の天然記念物の「豊秋河原のエノキ」（以下、大榎）が折れました。台風11号による強風が原因です。樹齢250年以上といわれる老木で、樹勢も衰えつつありましたが、樹木医の保護措置などを行いつつ、地域の人々に見守られてきた大木でした。

昭和50年代後半に河川敷一帯の改修計画が持ち上がったときは、美しい小田川の景色を残したいと立ち上がった住民たちの環境保護活動が行われ、当時では珍しい近自然工法での護岸が整備されました。それ以降、大榎は美しい河原を守ったシンボルの存在になっていたので、地域の人々の衝撃は大きいものでした。

変わり続ける町の景色

専門家の見解によると、木の内部は腐朽が進んでいて、辛うじて生きている状態。このまま残しても2〜3年もつかどうかとのことです。町では倒木の危険性を考慮して伐採する方向で検討中――。町に溶け込んだすてきな風景が、また一つ消えていこうとしています。



てないよ。おかえりー」というメッセージを届けています。

「地域の人々の河川を守るといふ熱い思いと、子どもたちのためにという純粋な思いを、次の世代につなぐのが私の役割だと思ってやっていた」と語る小野さんですが、「若くて元気な時はできたことも、だんだんできなくなった。大榎が折れたとき、時代が変わったのかもしれない」と心境を打ち明けます。

「大きな榎の木の下で」は次の31回目最終回。大榎に感謝を伝えると同時に、「第1回」の会を開催し、新たな気持ちで再出発します。「折れた木の一部は『ゴカリナ』という楽器にして小学校に寄付する予定。使いながら由来を語り継いでほしいです。大切なのは、ここに大きな榎の木があったことと、この小田川の美しい景色が変わらず残してほしいと伝えることだから――」



昭和初期の茶の間の夕食。暮らしぶりだけでなく、使われていたさまざまな民具も描かれている（土居家提供）

語り継ぎたい、土居通康さんが描いたふるさとの記憶——

変化の時代の今、心をひかれる「記憶画」

土居通康さん（享年69歳）の絵からは、日々の暮らしの中にある幸せを感じます。急激に変化する社会で生きる私たちに、失くしてはならない大切なものを教えてくれているようです。残された時間があまりないと悟った通康さんは、記憶画9点と家族のために描いた絵日記を残しました。三女的美紀さんと四女的美香さんの話から、絵に込められた通康さんの思いに触れます——。

Interview

闘病しながら描いた絵

「父が本格的に絵を描き始めたのは、病気のことが分かってから——」と話し始める、美紀さんと美香さん。「闘病は約3年間だったけれど、最後の方は描けなかったもので、2年ほどで描いたもの。体調がいいときは一緒にドライブに行つて、帰ったらすぐに日記のように描いていた。私たちが『さつま汁』が好きだったので、そのレシピを絵と一緒に残してくれている。私たちが喜ばせたかったのかな」と話す姿に、通康さんの人柄が浮かんできます。

通康さんは子どもの頃から



（左）中塚 美紀さん＝内子12＝
（右）土居 美香さん＝大平＝

絵が大好き。本格的に絵を勉強したかったようですが、若くして両親を亡くし、長男だったため絵の道は諦めました。それでも、昭和59年発行の『小田の昔話』の挿絵や城の台発掘調査の鳥瞰図を依頼されるなど、絵の才能は地域でも有名でした。「絵で地域の役に立てたのがきっかけだったと思う。昔から人のため、地域のためという思いが強かったから」と美紀さんが言う。『昔の生活の写真は残ってないから、こんな史料があったら面白いやろ』と絵を描きながら言っていたのを覚えている」と美香さん。「私たちは、ほんわかした気持ちで見ている絵だけど、いろいろ調べてもらって、未来に何かを残そうと

意志を持って描いたことを知った」と亡き父に思いをはせます。秘められた思いを読み解く

「小田のふれあい講演会（詳細は次ページ）」で、通康さんの記憶画を題材にして講演をした井口梓さん（愛媛大学社会共創学部准教授）は、「地域の人たちの聞き取りから、通康さんの絵は人々の顔を含め、かなり精巧に描かれていることが分かった。『現代絵農書』ともいわれ、庶民の歴史、生きざまが込められた史料的に価値のあるもの」と解説します。調査に協力した美紀さんと美香さんも「80、90歳の時に当時の話が聞けたことは貴重。多くの人が懐かしんでくれたのがうれしい。小中学校の取り組みもすてきで、子どもたちの姿を父が見たら本当に喜んだと思う」と目を細めます。「どんなに便利になっても世界は変わっていくけれど、こういう時代があったことを子どもたちに学んでほしい」「昔のこんな生活でも幸せだったはず。父の絵と思い出は増えないけれど、残ったものを大切にしたい」。二人の思いは、きっと通康さんの思いと通じています。

《記憶画の説明》

通康さんの幼少期を描いた記憶画9枚が残されている。全て記憶の中の映像をもとに描いているが、牛車の車輪や神輿の装飾など、細部までかなり正確なことが分かった
3_ 自宅があった大平地区の棚田と通学路 4_ 分教場の昼休みの様子。「輪回し」などで遊んでいた



（土居家提供）



1_ 大洲市の赤レンガ館で個展を開いた通康さん。妻・澄子さんとの記念写真 2_ 釣りが好きで、家族で行ったことを描き残していた。たくさんの思い出がつづられた日記の冒頭には「この日記は子供や孫たちが見てくれればいい。晩年のじいちゃんのあほな生きざまが見えるだろう」と添えられている



my life Today
あなたは今日をどう生きますか

1_かるた札を手に笑顔を見せる児童たち 2_絵の感想を出し合いながら、活用方法などを話す中学生 3_かるた札を取ったら、それが何かを大学生が丁寧に説明していた 4_楽しい声でにぎわう会場 5_会の準備をしてくれた愛媛大学の皆さん



子どもたちが大きな絵の中に入り、タイムスリップしたような学びの場——。11月16日、小田小・中学校の児童・生徒を対象に同校の体育館で開かれた「小田のふれあい講演会」の様子です。「のぞいてみよう！ まかしの小田のくらし」大切にしたい小田の文化」と題して、愛媛大学の井口梓先生と学生たちが、小学生と「かるた取り」や「絵探し」、中学生とは今と昔の価値を話し合うワークショップをしました。

学生たちが用意したのは、土居通康さんの絵をA0用紙9枚分に拡大した巨大な記憶画6枚。その中から46個の昔のモノやコトをかるたにしました。取ったかるた札が何を表しているかを探す「絵探し」にもなっています。楽しく学んだ子どもたちは、「小田の良さが分かった」「受け継がれてきた祭りなどに積極的に参加したい」「祖父母ともっと話したくなった」と目を輝かせていました。

井口先生は「私たちはこの絵がみんなに何かを伝えるためにあると思う。通康さんのように精一杯生きて、いろんな人と出合って、自分の人生で大切なものを増やして」と願いました。

過去と今を比べると、今よりもっと広い未来が見えてきた

過去から新しい未来へ——

私たちは先の見えない未来にしか進むことができません。だから過去から学ぶことが大切になります。こんな学びの場になるなんて、通康さん自身も想像できなかったかもしれませんが、彼が一生懸命に生きた証は今、未来への道しるべになっています。

大好きな小田をずっと大切にしていね

地域の財産として未来につなぎたい絵です。細かく描かれていて、いずれの絵を見返しても多くのことに気付けます。子どもたちが地域のことを話す姿を見て、小田のことが本当に好きなんだと感じました。これからの小田を担う人たちなので、その気持ちをいつまでも大事にしたいと思います。



瀧田 なつきさん
(愛媛大学3年生)

一緒に学んだことが未来への道しるべ

「昔の方が楽しそう、行ってみたい」という声に、昔の人々の記憶が受け継がれているのを感じました。初めて知ったことも多かったと思うので、小田について詳しくなりたいことを、家族や友達と一緒に話してほしいです。大人になったとき、未来の小田について考えるヒントになれば、うれしいです。



湯谷 なつきさん
(愛媛大学2年生)

人とのつながりが地域の力なんだ

どの絵からも人のつながりの強さを感じました。私の父も地域の人と協力して田植えをしていて、僕自身が地域の人と関わる機会が増えています。機械だけに頼らず、人と助け合うことで地域や活動が元気になることを、土居さんの絵から改めて学びました。



上岩 かずひろさん
(小田中3年)

伝わる小田の暮らしの温かさ

家にキジ肉などがあり、食料を得ることが大変だったようです。でも絵は温かく、楽しそうに感じました。牛鬼や神輿、うどんなどは今も残っていて、人々がどのように暮らしを重ねてきたのかが伝わりました。私たちも大切にしたいです。



本田 のの乃さん
(小田小6年)

Interview
私の学び

参加した皆さんに
話を聞きました

笑いと感動の初舞台

11月19日、金剛能楽堂で開かれた「三ノ会」京都公演。宮崎さんは「蟹山伏」の蟹の精役として初舞台に立った。「面をかぶるので体型や動きで笑いをとれるよう頑張る」と、堂々とした蟹を演じていた。



笑いと拍手が起こり、大好評だった（中央が宮崎さん）



満員の客席。宮崎さんの両親の姿もあった

公演の前日、狂言師・茂山千三郎さんの自宅内にある稽古場で、大粒の汗をかきながら練習に励む宮崎大知さん。取材を始める「狂言が楽しすぎて、ここまで来てしまった」と、笑顔がはじけます。

宮崎さんは小学5年生の時に始まった「内子こども狂言くらぶ」の最初のメンバーです。周りのサポートもあり、中学・高校と狂言を続け、この春から茂山先生に弟子入りしました。

「子どもの頃は内子町の皆さんが優しく見守ってくれていた。これからは、優しさに甘えてはダメな世界。先輩たちからも『終わりのない世界。休みなく稽古を積んできた』と聞いて、肝に銘じている」と語る表情は、少し大人びていました。

茂山先生の大ファンと公言する宮崎さんは「子どもの頃から怒られたことはない。でも求められる技術はどんどん厳しくなる。大変だけど、次までにできるようにになって、先生に褒められたいという気持ち——」。稽古が足りないときは家で自主練習し、声出しはカラオケボックスなどでしているそうです。

「目標は先生の相手役で舞台に

立つこと」と目を輝かせます。

初舞台については「うれしいけれど、目標まではまだまだなので、いい演技をして、それを続けられるように努力したい」と、通過点を強調。プロの狂言師として成長し、いつか内子町の子どもたちに狂言を教えることが夢とも語ってくれました。

茂山さんは「内子町の文化として、狂言が成長する過程の中心にいる大知。プロの世界は今までとは全然違うけれど、毎日、一生懸命に悩んでほしい」と激励し、内子こども狂言くらぶの子どもたちには「厳しさを乗り越えられるのは、好きという思いを育んでいるから。みんなの狂言が好き、内子町が好きという気持ちを膨らませてあげたい。それが未来の力になる」とのメッセージをもらいました。

最後に宮崎さんは「多くの人たちのおかげで狂言の道に立たせてもらった。自分が歩みを止めたら、後輩たちの道を閉ざしてしまうかもしれないという気持ちで頑張っている。狂言と出会えた内子座にも感謝。内子町で育ったからこそなので、その素晴らしさを自分も伝えたい」と前を見据えました。

my life Today
あなたは今日をどう生きますか

歩み始めた狂言師の道

今をただ、一生懸命に生きること。それが文化の種になる——

内子座創建100周年事業から始まった「内子こども狂言くらぶ」。100年先に内子座をつなぐために、狂言を内子の文化にという思いが込められています。宮崎さんは、その設立当初からのメンバー。この春から茂山千三郎さんの弟子となり、11月19日に初舞台を踏みしました。

宮崎 大知さん（18）
内子町富長出身



4



3

日々勉強、終わりのなき道

3_兄弟子の黒川亮さんに衣装の選び方や扱い方を習う宮崎さん。兄弟子が集まるときには稽古に誘ってもらうなど大切にされている 4_公演の前日、茂山先生に直接指導を受ける。蟹の精の動きに磨きをかけていた



2



1

狂言の道、最初の一步

1_内子座創建100周年記念事業の一環で平成26年に発足した「内子こども狂言くらぶ」。最初の頃の稽古の様子。中央が宮崎さん 2_平成27年の「茂山狂言内子座公演」的一幕。宮崎さんは「菌」の男の役を演じていた

今日の積み重ねが人生



1_昔ながらのカラサオを使って豆を落とす作業 2_農作業の合間に妻の八重子さんと庭で一休み 3_天日干しした黒大豆の乾き具合を確認する完夫さん 4_軒先につるされた干し柿は冬の風物詩 5_栗の木に登って剪定作業。「まだまだ息子より仕事できるぞ」と完夫さん

毎晩、明日の時間を上手に使おうと考えながら寝ます

田村 完夫さん(90) = 石畳9 =

百姓をしていて、栗や柿、大豆、落花生などを作ります。養子として石畳に来たのが、終戦から少し経った昭和23年(1948年)頃。私が16歳になる年でした。当時は食べ物がなく大変だったので、百姓さまさまやったです。

若い頃は朝早くから夜遅くまで、よう働いたもんです。百姓ばかりだけど、雨が降ってもわらを編むなど、家でできる仕事をしよりました。しょうゆやみそ、草履など、何でも自分たちで作るのが当たり前。今でも夜寝るときに「明日は何と何の仕事しよう」と思いながら眠る。さぼろうとか今日は休もうとか思わんけん、もう性分なんよ。

ずっと大切にしているのは「思いやり」です。ばあさんのことは何でも分かったもんで、病気がちだか

ら重たいもんなんかは絶対持たせません。まずは夫婦と家族の幸せよな。隣近所も地域の人みんなも大事にせないけん。田舎やけん、みんなが助け合い、仲良くしてほしいわいな。

若い人らは、こんな時代で大変だけど、いろんな人と出会った方がいいと思います。それから、失敗しても頭で考えすぎてくよくよせんように——。なるようにしかならんから、心配したっていけん、というのが私の経験です。私も一日一日を大切に、一日でも長くばあさんと一緒に長生きできたらいいなと思います。



Interview

90歳を超えても、なお元気に働いている奥嶋さんと田村さん。喜怒哀楽、たくさんの「今日」を積み重ねた2人の話からは、今の時代だからこそ真似したい考え方や生き方、そして一日一日の大切さが伝わってきます。



1_毎週土曜日、作った野菜などを販売している「およりんか」(営業時間午前7時30分～午後2時)。2人ずつの当番制で店番をする 2_接客をする奥嶋さん。行き届いた目配り気配りがすごかった 3_畑にはきれいな大根や白菜、小松菜などが並び、丁寧に育てていることがうかがえる

いくつになっても出会いと学びは楽しみです

奥嶋ハル子さん(96) = 上田渡 =

昔の人の方が大変な仕事が多かったから、みんな根気強かったですね。今はいろいろな機械があるから便利で楽になって、しんどい仕事を好んでする人は少ないです。畑を打つ人も最近は見かけなくなったね。でも、今の人にそれを求めているわけではないんです。若い人に言ってもそれは無理な話。時代に合わせた生き方でいいと思っています。

私も若い頃から、いろんな仕事を経験しました。尋常高等学校を卒業してからは、病院や役場、嫁いだ先の旅館などで働きました。縫製業もして10人以上の人を雇っていたこともあるんですよ。男になり、母になり、社長になり、下っ端になり——その時々で一生懸命に生きてきました。

私は70歳の頃から健康維持のため農作業を始め

ました。「およりんか」に入るなら、売るもんがいるので野菜作りを始めたんです。作り方は本を読んで勉強して、分からんことは近くに農協があるので、そこに聞いてやってます。梅干しやラッキョウの作り方も講習会や近所の人に習っています。「およりんか」を続けているのは、いろいろな人と出会えるから。家におっても何もすることがないしね。畑のことやら、食べ物のことやら、96歳になっても教わることばかり。人と話を、新しいことを知れるのはいくつになっても楽しいです。



Interview

明日へつながる、光の渦を見つめて――

夜空を見上げると、満天の星空。

止まっているように見える星も

カメラで撮影すると、

意外と早く動いていることが分かります。

人生も同じかもしれません。

日々、同じような生活を送っていても

何かが少しずつ変わっています。

人生の輝きは、

「今日」を大切に――

一日一日の小さな輝きを集めたものと

人生の先輩たちが教えてくれました。

変化しても、変わらない思いを伝えること

変化するからこそ、失くしてはならないこと

過去から学び、また明日へ進むこと

今をただ、一生懸命に生きること――

一人一人の輝きがつながることで

町の輝きになるのならば

その光がきつと、子どもたちを

明るい未来に導いてくれるはずです。

今日と明日の間で輝く星空を見上げながら

私が今日、どう生きたか

明日をどう生きたいか考えたいと思います――



(株)内子龍王バイオマスエネルギーの説明を聞く山口さん(右から2番目)

内子高校小田分校の生徒が町内各地で仕事を体験する「インターンシップ」が11月15～17日の間にあり、インターン生2人が内子町役場にきました。税務課の家屋調査や総務課の交通安全設備の確認、内子保健センターの業務などを体験。いろいろな

将来を考えるインターンシップ 小田分校生が役場の仕事を体験

仕事を体験したくて役場を希望したという山口泉さん(同校2年)は、「デスクワークのイメージが強かったけれど、現場に出る仕事が多くて驚いた。新しいバイオマス発電所も見学できて、盛りだくさんの内容だった」と声を弾ませました。



(上)八幡浜市の川上小子供神楽の「大蛇退治」の一場面 (下)内子こども狂言くらぶは日頃の活動を紹介

「内子れきみんであそぼ」が11月13日、歴史民俗資料館で開かれました。子ども8人とその保護者が参加し、紙芝居やゲームなどで、一緒に楽しみながら町の歴史を学びました。参加者を迎えたのは、おはなし会「むしこまど」の皆さん。大瀬地区の「延

町の歴史と資料館をもっと身近に 「内子れきみんであそぼ」を初開催

命地蔵」などの民話を紙芝居で紹介し、地蔵が黒雲龍との相撲勝負に勝つて水をなくしたと話しました。ゲームでは指令書を手に館内を歩き、昔の炊飯器や冷蔵庫などを搜索。少し身近になった資料館で、楽しそうな笑い声が響いていました。



学芸員の話聞きながら館内を回る子どもたち。探索ゲームも楽しんだ

南予の伝統を受け継ぐ子どもたち 稽古の成果を内子座で堂々と披露

南予地域で伝統芸能に励む子どもたちが一堂に会す「南予伝統芸能発表会」(えひめ南予きずな博実行委員会主催)が11月19日、内子座で開かれました。八幡浜市の「川上小子供神楽」や宇和島市の「立間鹿の子保存会」など7団体・約70人が出演。地域に伝わる舞などを、堂々と披露する姿に会場から温かい拍手が送られていました。歌舞伎俳優

の市川團十郎さんからのビデオメッセージもあり、「日々の稽古に励み、伝統を継承してもらえるところうれしい。頑張つて」と激励してもらいました。須佐之男命を演じた、まめつこ神楽部の吉田風沙さん(内子小5年)は「同じように頑張っている子どもたちを見て刺激をもらった。私も、もっとうまくなりたい」と真つすぐな目で語りました。

「南予プレミアムダイニング 内子座晩餐会」が10月29・30の両日、内子座で開かれました。企画・運営は内子町内の料理人などをはじめとした有志による実行委員会。まちの食材や文化の魅力を発信しようと多くの人が協力しています。食事は「Mario & Raffaella」(松山市)のシェフで五十崎出身の福岡淳さんが、地域で採れた新鮮な食材を

フレンチのコース料理として提供しました。ジャズ演奏が響く中、特設席には天然アユやジビエなどを使った料理が次々と運ばれ、来場者の五感を楽しませていました。松山市から参加した大西泰祐さんは「歴史ある内子座で上質な食事をする企画自体が素晴らしい感動した。料理の内容やスタッフの対応もよかった」と満足そうでした。



登壇した早見さん(右)とサブライズで登場したデブ猫ちゃん

『かなしきデブ猫ちゃん』への思い 作者の早見さんが内子町で講演

「第47回内子町読書活動研究集会」が11月8日、共生館で開かれ、町内の中学生など約480人が参加しました。読書感想文の表彰式などがあつたほか、内子町などを舞台にした童話『かなしきデブ猫ちゃん』の作者・早見和真さんが「は

じめての里帰り」と題して講演。「人々の考えに触れられるのが本の素晴らしさ。苦しいときに、物語の出版がある」と語りかけました。参加者からは「面白くて心に響いた」「本を読んですてきな人になりたいと思った」など感想が寄せられました。

100年の芝居小屋で食と文化に触れる ふた夜限りのプレミアムダイニング



希少な内子の食材を使った料理、おいしい地酒、特別な空間……。多くの人々の協力により、最高のおもてなしで来場者を迎えられた

「企業版ふるさと納税」で社会貢献 (株)ヒューネットが町に100万円寄付

(株)ヒューネット(兵頭完治代表取締役社長)から内子町へ企業版ふるさと納税100万円が寄付され、10月20日に町長室で贈呈式が行われました。同社・経営企画室長の兵頭慶太さん他4人が出席。小野植正久町長に目録を手渡し「子どもたち

のために使ってほしい」と思いを伝えました。企業版ふるさと納税は、企業が町の地域創生の取り組みを応援するために寄付できる制度です。いただいた寄付金は放課後の子どもたちの居場所づくりのために、児童館整備に活用する予定です。



小野植町長に100万円の目録を手渡した兵頭慶太さん(右)



「きれい」と歓声が上がるブナの木の間

黄金色に輝く最高峰の散策コース 大自然を楽しむ「秋空とブナの森散策」

「秋空とブナの森散策」が11月8日、秋色に染まった小田深山で開かれました。参加者は南予最高峰の笠取山から貝渚山への尾根とブナ林に行く約4^{キロ}のコースを散策。非日常の大自然の景色を、ガイドとともに楽しみました。ガイド役の高本匡介さんは「天気が良くて山頂からは海も見えた。山の上から見る紅葉は最高。多くの人に目に來てほしい」と呼びかけました。



さわやかな秋の空気の中、颯爽とスタートする参加者

愛媛サイクリングの日に合わせて 自転車で秋を満喫するイベントを開催

自転車で走りながら内子町や大洲市の観光を楽しむ「内子グループライド」が11月12日に開かれ、37人が参加しました。コースは初心者向けのショートコースや、全長72^{キロ}の本格的なコースなど3種類。体力や経験に合わせたコースで、秋のサイクリングの魅力に触れました。大森祥子さん＝内子4＝は「町内でも初めて訪れる場所があった。次は子どもと一緒に來たい」と笑顔で振り返りました。



1本の電話で静かな店内が一転、殺人事件に巻き込まれる

地域に愛される劇団が3年ぶりの公演 謎解きミステリーで観客をくぎ付けに

劇団オーガンス公演「WHO done it Cafe」が11月12・13の両日、内子座で開かれました。今回は初のミステリー作品。電話の向こう側で殺人事件が起き、客たちが事件の真相を推理するという物語です。閉ざされた空間で次々と展開する話に、多くの観客が引き込まれていました。観覧した田中泰子さん＝内子5＝は「一緒になぞ解きを楽しめて面白かった」と大きな拍手を送っていました。



ママ目線の優しいマルシェに、みんなほっこり

ママ作家4人が企画したマルシェを初開催 かわいい手作り作品でほっこり笑顔に――

内子町内のハンドメイド作家4人が立ち上げた「内子のほっこりマルシェ」が11月19日、内子まちの駅 Nanze で初めて開かれました。刺繍やバッグ、アイシングクッキーなどのかわいい商品が並び、子どもたちも大喜び。実行委員の一人・金森真理子さんは「大好きな内子を盛り上げたいと企画した。皆さんの楽しむ姿を見て私たちも幸せな気持ち。2回、3回と続けたい」と目を輝かせていました。

子どもたちのチャレンジ精神を育みたい 一輪車の一流選手が模範演技と直接指導

「一輪車体験事業」が10月18日、小田小学校で行われました。講師は国内外の一輪車競技大会で活躍する小木真由子さんと田中伶旺さん。模範演技でジャンプやターンなどの技を披露した後、児童たちに乗り方のコツなどを教えました。一輪車の魅力を知った児童たちは、「初めて乗れてうれしい」「先生の演技がすごかった。私も上手に乗りたい」と笑顔で一輪車に挑戦していました。



次々と繰り出される技に拍手を送る児童たち

森と林業の「楽しい」がいっぱい 内子町森林組合が20回目の林業まつり

多くの人に林業に触れてほしいと「第20回内子町森林組合林業まつり」が10月23日、道の駅小田の郷せせらぎなどで開かれました。火起こし体験や丸太ベンチプレスなどユニークな企画が加わった今年は、約300人が来場しました。同組合参事の大鍋直幸さんは「子どもたちにも森や林業について興味を持ってほしい。このイベントが林業の未来への種まきになれば」と思いを語りました。



林業機械のラジコンが大人気

フリマとハロウィンも一緒になって、 帰って來た「内子東自治センターまつり」

3年ぶりとなる「内子東自治センターまつり」が10月30日、同自治センターで開かれました。ハンドメイド小物やコーヒー販売など過去最多となる26団体のブースが並んだほか、ハロウィンにちなんだ写真撮影スペースが設けられ、仮装した子ども連れなどでにぎわいました。長田自治会の太田利栄会長は「うどんが人気で完売。イベントは大変さもあるけれど、うれしい」と笑顔で話しました。



仮装して來場してくれた子どもたち

音楽と芸術と食欲の秋―― 秋を満喫「五十崎文化祭」

文化の日に合わせた文化祭が各地域で行われ、五十崎自治センターでは11月6日に「五十崎文化祭」が開かれました。文化作品の展示のほか、和太鼓演奏やダンス、バザーなど多彩な催しがあり、多くの人でにぎわいました。飲食をテイクアウトにするなど工夫し、昨年よりも内容が豊富に。來場した白尾恵子さん＝平野＝は「和太鼓の演奏が最高。家族4世代で満喫できた」と満足そうでした。



にぎやかな演奏で会場を盛り上げる和太鼓集団「和達」



HAPPY BIRTHDAY

おめでとう はじめてのバースデー

12月に満1歳になる子どもたちを紹介します。



12.6
五頭 日咲ちゃん 柿原
何でも興味津々で、何でもパクパク！
早くお外で遊びたいなあ！



12.6
稲月 杏実ちゃん 駄場
元気がいっぱい！大きな声が出ます！
早くおしゃべりしたいです！



12.2
松森 大真くん 内子18第1
三男！人見知りなし！最近ちよつとだけ歩けるようになりました！



12.23
竹本 紗桜ちゃん 内子18第1
早く大好きなお姉ちゃんとお外でたくさん遊びたいなあ！



12.14
寺尾 依都ちゃん 内子13
元気がいっぱい！笑顔いっぱい！
早くお外を歩きたいなあ☆



12.13
中田 碧和くん 本町1
僕はお風呂が大好きです。毎日みんなを癒してあげるよ！



12.1
亀岡 彩葉ちゃん 本町
歩くのが大好きです！いつもお姉ちゃんの後を追いかけてます！

FROM ME TO YOU



みんなであつないでリレーエッセイ

「ペットの幸せ」



篠浦 智恵さん(38)
内子21

私の飼っているチワワの「はすこ」は、もうすぐ16歳を迎えます。食えることが大好きな女の子です。はすことは動物看護師の仕事を始め、すぐに出会い、毎日一緒に過ごしてきました。常に全力で、常に元気で、大きな病気をすることもありませんでした。もしかして、このまま20年も、30年も生きてくれるんじゃないか？ と思っていました。が、今年の春頃から一気に老化が進みました。

をしたときには怒ったこともあるし、忙しいときには相手をしてあげられないこともあったのに……。それでも私のことを信頼してくれて、姿を見ると、私も最後までしっかりと付き合っていこうと強く思います。

犬は高齢になると夜鳴きが始まる子もいます。猫は生後半年で妊娠・出産ができます。犬、猫ごとの病気もあります。私は今の仕事を通じて、いろいろな動物に関する情報を少しでも多くの人に伝えて、不幸な動物が減ることを願っています。これからも動物たちはもちろん、関わっている人たちも幸せに過ごせるよう、日々勉強し、頑張っていきたいです。

▼次は、折本隼太さん 内子4
にお願ひします。

監修 内子町食生活改善推進協議会

今月の食改さん



井上 由加里さん
＝黒内坊＝

●材料(4人分)

豚こま肉 300g / 白菜 1/4個 / オイスターソース 大さじ2 / サラダ油 小さじ1 / 青ネギ 適量 / ④こしょう 少々、酒 大さじ2、塩 ひとつまみ、片栗粉 小さじ1

●作り方

- ①ボウルに豚肉を入れ、④を加えてよくからませ、下味をつける。
- ②白菜は1cm幅の細切りにする。
- ③フライパンにサラダ油を入れて中火で熱し、①を入れて火が通るまでしっかり炒める。
- ④オイスターソースと②を加え、サッと炒め合わせる。青ネギを散らして完成。



季節の一皿

SPECIAL DISH

白菜と豚肉の
オイスターソース炒め



INSTAGRAM みんなが見つけた／

内子のいいところ「うちコト」

「#うちコト」を付けて投稿してくれた写真を紹介します。皆さんも#うちコトで内子町の「すてき」を投稿してみませんか。

uchikoto_official

見るだけでも楽しめるよ！
ぜひ、フォローしてみね！
QRコードをスキャンすると簡単に見られます。



ukl177さん
石量地区にある美しい菊の庭。



megu.shimoさん
中川地区自慢の乳出の大イチョウ。

Q 広報クイズ

「広報うちこ」12月号を読んで、①～⑥番の丸印をひらがな・カタカナでうめてください。小さい「っ」「ゅ」や、「が」などの濁音も一文字とします。「●」の文字を①番から順につなぐと、ある言葉になります。どんな言葉でしょう。

- ①町の歴史と資料館をもっと身近に。
内子「○○○○○○○○●」を初開催
- ②災害から身を守るための訓練「○○○○●○」えひめに参加しよう
- ③いつ加入しても将来にプラス。国民「●○○○」基金を知っていますか
- ④第17回内子町読書「○●○○○○○」入賞作品は図書情報館で見られます
- ⑤内子町などが舞台の童話『「●○○○」デブ猫ちゃん』の作者・早見和真さんが講演しました
- ⑥一流選手の技を間近で体験。小田小学校で「●○○○○○」体験事業

応募方法：
ハガキに答え、氏名、住所、年齢を書いて送ってください（1人1通まで）。正解者の中から抽選で10人に図書カード（500円）をプレゼントします。
宛て先：〒795-0392
内子町役場 総務課 広報・広聴係
締め切り：12月31日（消印有効）
当選者発表：「広報うちこ」2月号

● 10月号当選者の皆さん

答え「あきまつり」 正解数30

- ・折本 怜正さん（内子4）
- ・大野 富子さん（松尾）
- ・峯下 凜瑚さん（和田）
- ・小田 朝子さん（甲影山）
- ・白石 佐栄さん（川中1）
- ・中野多美子さん（上町）
- ・船田真由美さん（中町）
- ・山本 正子さん（上重松）
- ・松田 敏江さん（寺成）
- ・外木 雄さん（神奈川県）

日本の冬は寒く、暖房を利用する期間が長いので、電気が高くなりがちです。そこで今回は簡単にできる冬の省エネ対策を3つ紹介します。
① **エアコンの風は下向きに**
暖かい空気は上にいく性質



省エネ&節約しながら
冬を暖かく過ごすコツ

② **窓から熱が逃げるのを防ぐ**
寒い日は早めにカーテンを閉めるだけで、外からの冷気を和らげてくれます。部屋の暖かい空気が窓から逃げないよう、断熱シートを貼ったり、厚手のカーテンに交換したりするのもおすすめです。

【問い合わせ】
環境政策室
☎0893(44)6159



気泡緩衝材を窓に貼るのも断熱効果がある

③ **服装で体感温度を上げる**
靴下を履くと1度、カーディガンを羽織ると2度、体感温度が上がるといわれています。ほかにもひざ掛けやレッグウォーマーを活用するなど、自身の服装を見直してみましょう。

世界初の棍棒飛ばし大会で2位入賞

内子インナーチルドレン

「第0回全日本^{こん}棍棒飛ばし選手権大会」（全日本棍棒協会主催、東祥平会長）が10月7日、奈良県で開かれ、「内子インナーチルドレン」が2位に入賞しました。

競技は攻守交替制で、攻撃側が飛ばした棍棒を守備側が打ち返して、落下地点の得点で争います。同チーム代表の亀岡一彦^{かずひこ}さん＝石畳8＝は「妻が東会長と知り合いで誘われた。よく分からないけど、面白そうだから」とチームを結成しました。大会では初戦に敗退しますが、2試合目は最後の攻撃までに3点をリード。相手の得点を阻止すれば勝利という場面で、仲間が棍棒を見事にキャッチ。その選手にみんなが駆け寄って喜び合いました。亀岡さんは「あの1勝でみんな棍棒に魅了された」と笑います。

「競技のもう一つの魅力は、山に目がいくこと」と加える亀岡さん。自身が栗農家で、近くの山が荒れていくのを見続けてきました。「棍棒の材料は山にある。小さなきっかけでも、山の現状を知るいい機会。競技を広めることが山への興味につながれば」と、棍棒を片手に「現状を打破する」と意気込みます。



現在、町内外の10人のメンバーで活動中。「みそぎの里で練習などをしているので、体験しに来て」と呼び掛ける亀岡さん（前列）。棍棒飛ばしの様子はこちらの二次元バーコードをご覧ください▶



TOWN'S STAR

内子町の人☆キラリ

屋久島の魅力

先日、友人と屋久島へ行ってきました。「屋久杉さん」という古い巨木が有名なことしか知りませんでしたが、美しい景色に何度も感動し、たくさんの思い出ができました。この旅で私が感じた屋久島の魅力をお伝えします。

1つ目はさまざまな動植物が生息する森です。バナナやマンゴー、ハイビスカスなど、トリニダート・ドバコにある植物も自生していて、何度も故郷を思い出しました。ニホンザルやシカの群れにも出合いました。サルは寝そべったり、じゃれあったりしてかわいかったです。

2つ目は豊かな水の景色です。島には迫力ある滝が数多くあり、驚きで思わず立ち止まりました。

写真は今まで日本で見た中で一番、感動した景色です。海では温泉に入る面白い体験をしました。潮が引いたときにだけ現れる珍しい温泉で、入れたのは真夜中の12時。温泉につかりながら見た満天の星空は息をのむほど絶景でした。

他にも安らぎを感じる神社を訪れたり、トビウオのから揚げを食べたり——。2日間の短い旅でしたが、心も体もゆっくりとリラックスした時間を過ごせました。島暮らしの良さを感じ、行く価値がありました。今回は時間が足らず、「屋久杉さん」を見ることが叶わなかったのも、次の機会に挑戦したいです。皆さんも機会があればぜひ、この雄大な島を訪れてみてください。



HELLO!!!

FROM AROUND THE WORLD

外国語指導助手

パトリシア・ルイス

Lewis Patricia



VOICE

まちの声

内子町の写真を使いたい

□会社のホームページなどで、内子町の写真を使いたいのですが、提供してもらえるのでしょうか。（30代男性）
■内子町のホームページでは自由に使用できる写真を提供しています。写真は四季折々のまちの風景などです。

「ページID検索」に下記の番号を入力すると写真を見られるので、気に入った写真をダウンロードしてください。

ID 128039

【問い合わせ】

総務課 広報・広聴係

☎0893(44)6151

私の国際交流 — My International exchange experience —



「伝えたい」という
その気持ちを大切に

大川 絵梨さん VOL.06

「英語を話せたら世界中の人とお友達になれるよ」。近所で開かれた英会話教室の体験に初めて参加したときの先生の言葉が、当時の私にはとても印象的でした。先生が話す英語が格好よくて、すぐに英語が大好きになりました。英語を学ぶ楽しさはたくさんあります。外国の映画を見ていて聞き取れるフレーズがあるとうれしいし、外国の人に自分の英語が伝わったときの喜びは何物にも



国際交流協会職員として新任のALTを迎える大川さん

代え難いです。英語を学ぼうちに、私の知らない世界の国々の文化や習慣をもっと知りたいという気持ちも強くなっていました。

一方で「間違っていたら恥ずかしい」「伝わらなかったらどうしよう」という気持ちから、なかなか自信を持って英語を話せずにいました。以前、内子町国際交流協会に勤めていた頃はALTと話す機会がよくありました。その時も自分の英語力が不安で、うまく思いを伝えられず「本当はもっと話したいことがあるのに」と悔しい気持ちを抱えていました。そんなとき一人のALTが「間違った英語でもいい。伝えたい、話したいというその気持ちが一番大切なんだよ」と励ましてくれました。その言葉は今でも私の心のお守りです。

最近では気軽に勉強アプリで言語学習をしたり、動画サイトなどで国際交流の疑似体験をしたりできます。それでも実際の交流から得られる感動は比べ物になりません。自分の英語力はまだまだだし、外国の人と話すのはドキドキするけれど、もっと仲良くなりたい、いろいろな国のことを知りたいという思いを持ち続けています。英語が伝わる喜びや交流の楽しさをかみ締めながら、今後も私なりの国際交流を続けていきたいです。

コラム Column 国際交流のススメ③ 「食で感じる世界の文化」

国際交流協会ではALTなどが各国の伝統料理や家庭料理を紹介する料理教室を行っています。調理や食事をする中で、その国の文化を五感で感じられると人気です。先日はALTのアレックスさんとCIRのジェニファーさんが、町民の皆さんに栗寿司や芋炊きなどの郷土料理を教わりました。内子をより深く知れたと喜んでいました。「食」は私たちと世界をつないでくれますね。



●読書感想文入賞者の発表
「第17回内子町読書感想文」に59点の応募があり、下記の皆さんが入賞しました。おめでとうございます。入賞作品を掲載した「読書感想文集」は、図書情報館で閲覧できます。

●12月企画展のご案内
《郷土が生んだ芸術家①》
▽ちよつと大きめの絵手紙展

「おはなし会」
▽土曜日・午後2時～
12月3日 ゆりかご
10日 むしこまど
17日 むしこまど
24日 (えいごの日)
どんぐり会

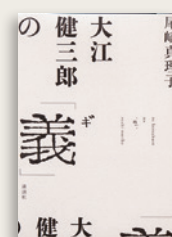
第17回内子町読書感想文の入賞者の皆さん(敬称略)

部門	最優秀賞	優秀賞	佳作
小学校 低学年	山田 朝陽 (石畳小2年)	兵頭 歩 (内子小2年)	櫻田 志歩 (五十崎小2年)
小学校 中学年	中村 心都 (内子小4年)	植田 健太 (内子小3年)	本田ひまり (立川小4年)
小学校 高学年	酒井 蒼 (五十崎小5年)	大森 茜音 (天神小5年)	上西 大誠 (立川小5年)
中学校	竹内 快 (内子中1年)	和田 千音 (五十崎中3年)	鈴木 ゆき (内子中2年)
高 校 一 般	橋本 莉菜 (内子高1年)	満井 菜悠 (内子高3年)	山本 祐飛 (内子高2年)
			大西 美夕 (小田分校1年)

新 着 図 書 紹 介

その他の新着情報はホームページをご覧ください。

♣一般図書



大江健三郎の「義」
尾崎真理子／著
『懐かしい都市への手紙』に登場する「ギ一兄さん」は柳田国男？ 西洋文学の申し子・大江健三郎の作品と、日本文学との関係を読み解く



プリテンド・ファーザー
白岩玄／著
娘と2人で暮らす恭平。ある日、一人で1歳半の息子を育てる同級生・章吾と再会する。互いの利害が一致して共同生活を始めるが……



「神様」のいる家で育ちました〜宗教2世な私たち〜
菊池真理子／著
親が宗教を信仰する家の子ども「宗教2世」は、世間とは違う生活をしている？ 著者を含む7人の宗教2世の家庭を描いたノンフィクションコミック

♥児童図書



あずきがゆばあさん
パク・ユンギュ／著
ばあさんが煮るあずきがゆは、とてもおいしい。ある日、ばあさんのところへトラがあらわれて……。韓国の小学校の教科書に載っている昔話



だじゃれむかしむかし
長谷川義史／作
おばさまのみみはそばとせみ、へんなやつとぐれてるやつ……。東西の昔話の登場人物たちが物語を飛び出して、だじゃれの掛け合いで競演する



ぼくたちはまだ出逢っていない
八束澄子／著
イギリス人と日本人のハーフの陸。母の再婚相手の家に引っ越してきた美雨。自分のアイデンティティを探す2人の巡り合いを描いた青春小説

【問い合わせ】
総務課 危機管理班
☎0893(44)6150

●方法 放送が流れたら、直ちに下記の3つの行動をとってください。

●日時 12月19日(月) 午前11時～

防災行政無線によるシェイクアウト訓練を行います。南海トラフ地震が発生したとき、すぐに落下物やガラスの破片などを回避する3つの行動をとれるように訓練しましょう。

《シェイクアウト3つの行動》



画像提供：効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

○あなたの力が生かせる職種がいっぱい
内子町役場の会計年度任用職員を募集

会計年度任用職員は非常勤の地方公務員に位置づけられます。職種が多いため、面接試験日や募集内容、応募方法などの詳細は、総務課にある応募要項またはホームページでご確認ください。

●採用期間 5年4月1日～6年3月31日
●応募期間 12月5日(月)～

5年1月10日(火)
●選考方法
▽フルタイム 面接試験
▽パートタイム 書類選考(面接試験をする場合があります)
ID 135426
【応募・問い合わせ】
〒795-0392
内子町平岡甲168番地
☎0893(44)6150

○まずは自分の身を守ることから――
「シェイクアウトえひめ」に参加しよう

いつ加入しても将来にプラス 「国民年金基金」を知ってますか？

コラム＊ねんきん瓦版

国民年金基金は自営業者など、国民年金のみに加入している人が老後も安心して暮らせるように、国民年金に上乗せして年金を受け取ることができる「公的な個人年金」です。

●対象者

日本国内に居住している20歳以上60歳未満の自営業者とその家族、自由業、学生などの国民年金の第1号被保険者および60歳以上65歳未満の人や、海外に居住している人で国民年金に任意加入している人が加入できます。ただし、国民年金の保険料を免除されている人や、農業者年金の被保険者の人は対象外です。

●加入するメリット

少ない掛金・自由なプランで始められます。加入後もライフサイクルに応じて月々の掛金を増減できます。掛金は全額が所得控除の対象で、所得税や住民税が軽減されます。

●途中脱退について

国民年金基金への加入は任意ですが、いったん加入すれば、加入者の都合で任意に脱退することはできません。また、途中で他の国民年金基金へ任意に移ることもできません。

会社員になるなど、国民年金の第1号被保険者でなくなった場合は、加入資格を喪失することになります。脱退するまでに納めた掛金は年金として支給されます。

●資料の請求

全国国民年金基金愛媛支部
☎0120(65)4192

【問い合わせ】

○松山西年金事務所
☎089(925)5105
○住民課 国民年金係
☎0893(44)6152

年末年始の業務のお知らせ



町の施設は12月29日(木)～1月3日(火)まで休みとなります。ただし一部の施設は休みが異なりますので、ご注意ください。

業務・施設／連絡先	12/27 (火)	28 (水)	29 (木)	30 (金)	31 (土)	1/1 (日)	2 (月)	3 (火)	4 (水)	5 (木)	6 (金)
届け出などの受付業務(※注) ○住民課 ☎0893(44)6152 ○小田支所 ☎0892(52)3111			休	休	休	休	休	休			
出納業務(支払・収納) 会計課 ☎0893(44)6156			休	休	休	休	休	休			
町営バス・デマンドバス 総務課 ☎0893(44)6150			休	休	休	休	休	休			
八日市・護国町並保存センター ☎0893(44)5212	定休		休	休	休	休	休	休			
内子座 ☎0893(44)2840			休	休	休	休	休				
歴史民俗資料館 ☎0893(44)5220			休	休	休	休	休				
木蠟資料館「上芳我邸」 ☎0893(44)2771			休	休	休	休	休				
護国駐車場 ☎0893(44)5347			無料開放								
文化交流ヴィラ「高橋邸」 ☎0893(44)2354	定休	休	休	休	休	休	休	休	休		
五十崎風博物館 ☎0893(44)5200			休	休	休	休	休				
内子町ビジターセンター「A・runze」 ☎0893(44)3790			休	休	休	休	休	休		定休	
内子町図書情報館 ☎0893(44)4198		整理日	休	休	休	休	休	休			
内子町クリーンセンター ☎0893(44)4574				午後休	休	休	休	休			

(※注)「死亡届」など急を要する事件は日直・宿直が受け付けます。(12月29日～1月3日は本庁のみ)
なお、内子分庁での受け付け業務はしていません。

○内子・五十崎地区の農家の皆さんへ 農業用廃プラスチックを回収します

不要になった農業用のビニールシートなどを回収します。搬出物はリサイクルしますので、適正な処分にご協力ください。

●回収日 12月23日(金)午前8時30分～11時30分

●回収場所 愛媛たいき農協五十崎支所駐車場

●搬出方法 1しめ当たり10^キ15^キ程度とし、次の4種類に分別してください。

①塩化ビニール／②ポリエチ

レンフィルム／③シルバーマ

ルチ④その他

●注意事項

▽運搬する廃棄物の種類と量、購入元を確認して搬出してください。

▽運搬する車両に「廃棄物収集車」と表示してください。

【問い合わせ】

農林振興課 農村支援センター(内子分庁内)

☎0893(44)2199

○学校生活を支援する「就学援助制度」

経済的な理由で子どもを小学校や中学校に通わせることが困難な保護者に対し、給食費や学用品費など学校生活に必要な経費の一部を援助します。

5年度の小・中学校入学予定者が、入学に必要な「新入学学用品費」については、3月に支給が可能です。

●対象 経済的理由で困っている保護者で、教育委員会が援助を必要と認める人
※児童扶養手当受給世帯や非課

税世帯などで、所得要件に該当する世帯が対象です。

●申請方法 5年1月中旬までにお子さんが在学または入学する学校にご相談ください。

※対象世帯など、詳しくは町のホームページをご覧ください。

【問い合わせ】

◎お子さんが在学(入学)する学校

◎学校教育課 学校教育係(内子分庁内)
☎0893(44)2124

○「軽」を持つなら知っておきたい 軽自動車の新しいサービス

《軽自動車ワンストップサービス》
軽自動車を保有するために必要な手続きや、税金・手数料の納付がインターネットでいつでもできるサービスです。

●注意点 手続きは新車購入時のみで、二輪・原付・小型特殊は対象外。スマートフォンやタブレットからは利用できません。

《軽自動車税納付確認システム》
このシステムを運用する5年1月以降は、車検の際に窓口で提示していた納税証明書が原則不要になります。

●注意点 「二輪の小型自動車」は納税証明書の提示が必要です。口座振替で納付した場合の納税証明書(継続検査用)は、「二輪の小型自動車」のみ送付します。

※詳細は「地方税共同機構ホームページ」をご覧ください。

【問い合わせ】

税務課 軽自動車税係
☎0893(44)6153



大瀬保育園の外観

○一時的に保育が必要になったときは 大瀬保育園で一時預かりが可能です

「一時保育事業」は保育園を利用していない家庭でも、一時的に保育が必要となった場合に

ご利用が可能です。

5年1月から大瀬保育園で一時預かり事業を実施しますのでお知らせします。利用する場合は事前申請が必要です。

詳しくは大瀬保育園へお問い合わせください。

【問い合わせ】

大瀬保育園
☎0893(47)0202

運送業などの事業継続を支援します

燃油価格高騰の影響を受けている運送業者などに対して、町が「運送事業者等支援事業給付金」を支給します。

●申請受付期限 5年1月31日(火)

●支給対象 4年4月1日時点で、町内で事業実態がある法人または個人事業者で、支給対象事業を継続していることなどの条件があります。詳しくはホームページでご確認ください。

●対象となる事業・車両など

支給対象事業		支給対象車両の種別	支給額
貨物自動車運送事業	一般・特定・貨物軽自動車運送事業。霊柩運送事業は除く。	普通自動車(100・800ナンバー)	2万6,000円/台
		小型自動車(400ナンバー)	1万2,500円/台
		軽自動車	2万5,000円/台
一般乗用旅客自動車運送事業	タクシー、介護タクシー	一般乗用旅客自動車	2万5,000円/台
自動車運転代行業		随伴用自動車	2万5,000円/台

●申請方法 申請窓口またはホームページから申請書入手し、必要書類を添えて提出してください。

※支給対象者や支給対象車両などの詳細もホームページでご確認ください。

ID 135147

【申請・問い合わせ】

町並・地域振興課 商工観光班(内子分庁内)

☎0893(44)2118

参加チーム募集 —— 新春の内子路を仲間と一緒に駆け抜けよう ——

第16回 内子町駅伝競走大会

●大会日時 5年1月15日(日)

▷開会式 午前10時30分～(内子町民会館大ホール)

▷スタート 正午

※雨天決行。荒天の場合は中止します。

●参加資格 中学生以上で、内子町内に在住または勤務(通学)する人

●種別 ①一般の部(1部・2部)／②壮年の部(50歳以上)③女性の部／④高校男子の部／⑤高校女子の部／⑥中学男子の部／⑦中学女子の部

※①・②・④・⑥は男女混合チームでも出場可能です。

※②は応募チームが5チームに満たない場合、一般2部となります。

●申込方法 所定の申込書で自治・学習課または各自治センターへお申し込みください。

●申込期限 12月23日(金)正午

※夜間練習するときは必ず反射用タスキを着用してください。



3年ぶりの大会をみんなで盛り上げましょう

※コースの詳細などは内子町のホームページでご確認ください。

ID 135155

【申込・問い合わせ】

内子町教育委員会(内子分庁内)

自治・学習課 生涯学習係

☎0893(44)2114

年賀交歓会の中止と 情報確認のお願い

《年賀交歓会の中止》

5年1月に開催を予定していた年賀交歓会は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して中止します。

【問い合わせ】

総務課 庶務係

☎0893(44)6150

《イベント情報のご確認を》

『広報うちこ』に掲載しているイベントなどは、新型コロナウイルスの影響で延期や中止になる場合があります。変更などの情報は町のホームページでお知らせしますので、ご確認ください。



◀こちらでイベントの
開催状況を確認

くらしの情報

募集

17音に思いを込める
「内子町新春俳句大会」

今回は応募形式の大会となります。皆様のご応募をお待ちしています。

●**応募期限** 5年1月20日(金)

※当日の消印は有効

●**投句料** 2句1000円

※支払い方法や応募などの詳細は、ホームページをご覧ください。応募用紙・投句用紙もダウンロードできます。

ID 135016

【主催・問い合わせ】

内子町文化協会(内子町教育委員会 自治・学習課内事務局)

☎0893(44)2114

自分に合う仕事を新発見
「シゴト発見フェス」

あなたの仕事を分析するなど、新感覚の就活ができます。

《シゴト発見フェス》

●**日時** 5年1月8日(日)午前10時～午後3時30分

●**場所** 愛媛県民文化会館(松山市)

●**内容** 対面・オンラインで県内50社が参加する就活相談会

●**対象** 5年3月、6年3月に卒業予定の学生。既卒3年以内の求職者

●**料金** 無料

●**申込方法** 専用の申込フォームからお申し込みください。



お知らせ

あなたを事故から守る
夜は「反射材」を忘れずに

早朝や夜間、散歩などをする人が増えています。周囲が暗くなると自動車の運転手からは、思っている以上に歩行者が見えにくくなっています。

暗い道を歩くときは、明るい衣類などを身に付ける他、反射材用品やLEDライトなどを活用することが効果的です。運転手と歩行者が互いに気を付けて、交通事故をなくしましょう。

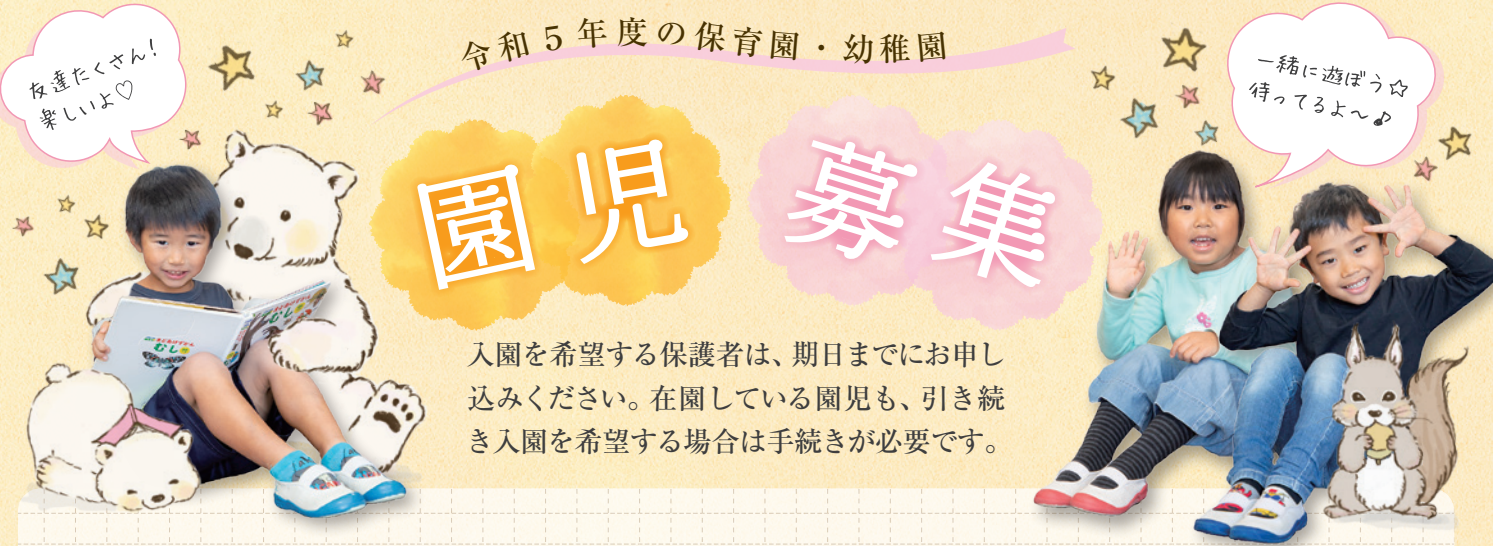
【問い合わせ】

総務課 危機管理班

☎0893(44)6150

気軽・簡単・買い物ついで
フジでマイナンバーカード

愛媛県がマイナンバーカードの申請ができるサポート窓口を、フジ内子店に設置します。まだマイナンバーカードを申請



園児募集

入園を希望する保護者は、期日までにお申し込みください。在園している園児も、引き続き入園を希望する場合は手続きが必要です。

《入園手続きなどについて》

●**手続き方法** 園ごとに決められた必要書類を、児童1人につき1枚、受付場所に提出してください。

●**必要書類の種類**

▷保育園・認定こども園 入園申込兼認定申請書
▷幼稚園 入園願、認定申請書

※保育園、認定こども園の保育園機能部分を利用する場合は就労証明書など、保育を必要とすることを証明する書類が必要です。

●**必要書類の入手方法** 用紙は各受付場所にあります。内子町のホームページからもダウンロードできますので、詳しくはご確認ください。

▷保育園・認定こども園 ID 135032

▷幼稚園 ID 126578

●**受付場所**

▷保育園・認定こども園 各保育園、こども支援課、内子総合窓口センター(内子分庁内)、小田支所

▷幼稚園 各幼稚園

●**申込期限** 12月20日(火)

《入園資格などについて》

●**入園資格**

▷保育園・認定こども園(保育園機能部分)

就労や求職、出産、病気などの事情で保護者が保育できないこと

▷幼稚園・認定こども園(幼稚園機能部分)

平成29年4月2日から令和2年4月1日生まれの子

●**対象区域**

▷内子幼稚園 内子町に在住する児童

▷小田幼稚園 小田地域に在住する児童

●**その他** 民営の保育園も、入園の手続き、保育料の決定・徴収は内子町が行います。

《各園の定員と開園時間》

保育園

●募集保育園／定員／開園時間

募集保育園	定員	開園時間
内子保育園	80人	午前7時～午後7時
五城保育園	60人	午前7時30分～午後6時30分
大瀬保育園	50人	
くるみ保育園	80人	午前7時～午後6時

認定こども園

●募集園／定員／開園時間

募集園	定員	開園時間
五十崎こども園	132人	午前7時30分～午後6時30分

※保育園機能部分102人、幼稚園機能部分30人

幼稚園

●募集幼稚園と対象区域

募集幼稚園	定員	開園時間
内子幼稚園	140人	午前8時～午後2時
小田幼稚園	70人	

※内子幼稚園では、就労などの一定要件に該当する場合は午後4時30分まで一時預かりできます。

【問い合わせ】

◎保育園・認定こども園

こども支援課 児童福祉係 ☎0893(23)9255

◎幼稚園

内子町教育委員会(内子分庁内)

学校教育課 学校教育係 ☎0893(44)2124

【問い合わせ】

kencomお客様サポート
☎050(3174)4916



※詳しくは愛媛県のホームページをご覧ください。

●**キャンペーン内容** kencomに新規登録した先着500人に500円分のギフトコードをプレゼント

●**期間** 5年1月31日(火)まで

●**対象** 愛媛県内在住の20～74歳で国民健康保険の加入者

アプリで健康づくり
キャンペーン実施中

【問い合わせ】

愛媛県版マイナンバーカードお問い合わせ事務局
☎0120(584)870

されていない人は、買い物ついでにお立ち寄りください。

●**日時** 12月13日(火)、18日(日) 午前10時～午後4時

●**場所** フジ内子店

●**主催** 愛媛県

令和5年度採用
内子町社会福祉協議会

職員採用試験

3次募集

試験区分、採用予定人数など

区分	保育士	介護支援専門員	介護福祉士
採用予定人数	4人程度	1人	1人
受験資格	昭和47年4月2日以降の生まれで、保育士登録がある人、または*登録見込みの人	昭和47年4月2日以降の生まれで、介護支援専門員の資格がある人、または*登録見込みの人	昭和47年4月2日以降の生まれで、介護福祉士の資格がある人、または*登録見込みの人
必要書類	保育士証(写)または、登録見込み証明書	登録証(写)または、登録見込み証明書	
1次試験	教養試験・適性試験・専門試験	作文・面接	
基本給与	16万3,100円以上	16万100円以上	
備考	昇給(年1回)・賞与(年2回)・各種手当あり、社会保険など加入		

*登録見込みの人 ……令和5年3月31日までに登録見込み

【共通事項】

■一次試験

▷期日／場所 5年1月15日(日)／内子分庁
※詳しくは申込者に通知します。1月6日(金)までに通知が届かない場合は、ご連絡ください。

※二次試験は、2月5日(日)に実施する予定です。

■採用予定日 5年4月1日(試用期間6カ月)

■応募書類

志願票、履歴書、職種別必要書類(各1通)
※志願票と履歴書はホームページまたは内子町社会福祉協議会の各施設から入手できます。

■応募期限 5年1月4日(水)

※応募方法などの詳細は、募集要項をご確認ください。内子町社会福祉協議会またはホームページでご覧になれます。

☞<https://www.shakyo.or.jp/hp/1486/>

【応募先・問い合わせ】

〒791-3392
内子町内子1515番地
内子町社会福祉協議会
☎0893(44)3820

活動報告

傾聴ボランティアグループの交流会を開催

「愛媛県内傾聴ボランティアグループ交流会」(内子傾聴ボランティアほほえみ主催、代表上堂恵子さん)が10月29日、共生館で開かれました。

13団体・35人が出席。講師の福積千佳子さんの講演や、参加者同士の情報交換を行って、傾聴の基本を学び直す機会となりました。上堂さんは「3年ぶりに県内で同じ活動をする仲間が集まった。情報を共有し、励まし合う機会を持ててうれしい。今後もコロナ禍でもできることを考えたい」と思いを語りました。

《内子傾聴ボランティアほほえみの活動》

人の悩みや寂しさを「聴く」ことで寄り添い、心のケアをしています。うちこ福祉館の「わいわい喫茶」でも活動しているので、気軽に会いに来てください。



1_福積さんの講演 2_役柄を変えて実践するロールプレイの様子 3_交流会に参加した皆さん

《わいわい喫茶》
●日時 5年1月10日(火)
午後1時～4時30分
●場所 うちこ福祉館
●参加費 無料
※うちこ福祉館では、人権に関する相談などを受け付けています。気軽に「こ来館」ください。
【申込・問い合わせ】
うちこ福祉館
☎0893(44)3410

うちこ福祉館の行事案内

松山地方法務局と愛媛県人権擁護委員連合会では人権週間に合わせて啓発活動をしています。相手の気持ちを考え、違いを認め合う心を育む人権週間にしましょう。
人権問題で困ったときは「みんなの人権110番」にご相談ください。
《みんなの人権110番》
☎0570(003)110

お知らせ

12月4日から10日は「第74回人権週間」

原子力の知識を深める エネルギー講演会

●日時 5年1月24日(火)午後1時30分～3時30分
●場所 宇和島市吉田公民館
●内容 「消費者の視点で考えるエネルギー・環境」
●講師 秋庭悦子さん(NPO法人あすかエネルギーフォーラム理事長)
●申込方法 1月18日(水)までに電話でお申し込みください。
●参加費 無料
●定員 60人
(公)伊方原子力広報センター
☎0894(38)2036

暖房器具の取り扱い 再確認であったか安心

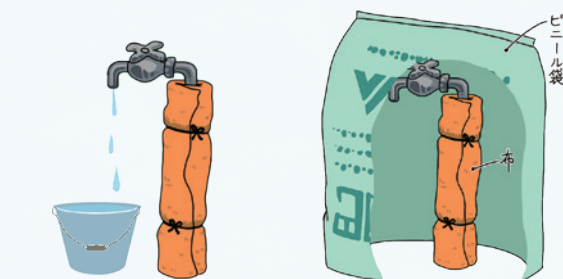
暖房器具の誤った使い方は、思わぬ事故につながります。寒い季節を迎えるので、今一度、安全な取り扱い方法を確認してください。

《暖房器具を使用するときは》
▽カーテンや布団、洗濯物などの可燃物の近くで使用しない
▽スプレー缶をストーブなどのそばに置かない
▽就寝時や外出時は必ず暖房器具

凍結・破裂に注意

冬場は朝晩の冷え込みで水道管が凍結し破裂する恐れがあります。次の2つのことに注意して、水道管を凍結から守りましょう。

- ① 冷え込みそうな夜は ② 水道管を保温材や布などで包む
- ① 冷え込みそうな夜は ② 水道管を保温材や布などで包む



水はバケツなどに入れて再利用する
ビニール袋などをかぶせて濡れないようにする

各家庭で水道が漏水しても水道料金は減免されません。発見したら、すぐに内子町指定の水道事業者に修理を依頼してください。

【問い合わせ】
上下水道対策班 ☎0893(44)6158

具のスイッチを切る
▽電源プラグやコードが傷んでいたら使用しない
【問い合わせ】
内子消防署
☎0893(43)0119

きれいな道づくりを支援 愛ロードサポーター募集

愛媛県では、県管理道路の清掃美化活動などに協力していただける団体(2人以上)を募集しています。サポーターの皆さんには

清掃用具の提供や、ボランティア保険への加入などの支援があります。みんなで力を合わせてきれいな道づくりをしましょう。
●活動内容 除草、ごみや空き缶の収集、花壇の植栽など
【応募・問い合わせ】
大洲土木事務所
☎0893(24)5121



アルコール依存症にならないために 見直そう、お酒との付き合い方

アルコール依存症の患者数は全国で80万人以上といわれており、酒を飲む人は誰でも依存症になる可能性があります。控えたいと思ってもつい飲み過ぎてしまう、毎日飲んでしまうという人は注意が必要です。

アルコール依存症の怖いところは、酒を飲む量や時間、状況を自分でコントロールできなくなることです。依存症になると飲酒量が増えることでさまざまな体の病気を引き起こすほか、イライラや不眠の原因になったり、社会的に孤立したりすることもあります。さらに本人が依存症だと気付かないことや、認めたがらない場合もあります。そのことで支援する家族が心身ともに疲弊してしまうなど、本人だけでなく周囲にも悪影響を及ぼします。

《依存症にならないための3つのポイント》

- ①休肝日をつくる
- 週2日以上、連続して休肝日をとるのが理想的です。周囲にも宣言して協力してもらい、休肝日は酒以外のリフレッシュの時間にしましょう。
- ②寝酒や深酒はしない
- 寝酒は深い眠りを妨げる原因になります。寝る2時間前までに切り上げて、気分がよくなる程度の「ほろ酔い」でストップしましょう。
- ③目安を守りゆっくり楽しむ
- 酒を飲むときはまず食べ物でお腹を満たしてか

ら、ゆっくり飲むのがポイントです。1日の飲酒量の目安は、ビールなら中瓶1本、日本酒なら1合、チューハイなら350ml程度で、女性はこの半分です。アルコール度数が9%以上のストロング系チューハイは、350mlで適量をはるかに超えてしまいます。ウイスキーや焼酎などの強い酒も薄めて飲みましょう。

《一人で悩まずに相談を》

アルコール依存症は早期発見、早期治療が大切です。基本的に断酒する以外に回復する方法はありませんが、依存症になると脳の働きに異常を来すため、自分の意志だけではやめることはできません。そのため周囲の正しい理解と、適切な治療や支援が必要です。本人や家族だけで解決しようとせずに、まずは保健センターやかかりつけ医に相談しましょう。

《依存症についてもっと知りたい人は》



酒との付き合い方が分かる本を、図書情報館で貸し出しています。依存症について詳しく学んでみませんか

1月の相談日・救急当番医

●年金1日相談

日時：12(木)・26(木)の午前10時～午後3時30分

場所：内子自治センター ※相談は予約制です。

予約・問い合わせ：松山西年金事務所 ☎089(925)5110

●行政相談

日時：10(火)の午前9時30分～正午

場所：町民会館／内子分庁／小田自治センター

問い合わせ：総務課 ☎0893(44)6150

●心配ごと相談

日時：17(火)の午前9時30分～正午

場所：内子分庁

※心配ごと相談は予約制です。前日までに電話でお申し込みください。

問い合わせ：内子町社会福祉協議会 ☎0893(44)3820

●大洲喜多休日夜間急患センター ☎0893(23)1156

診療科目	診療時間
内科	○昼間：午前9時～午後6時(日曜・祝日) ○夜間：午後7時～10時(平日、土・日曜日)

※12月30日(金)、31日(土)、1月2日(月)、3日(火)は午前9時～午後6時

●小児在宅当番医

日	医院名	電話番号
1(日)	守口小児科(八幡浜市)	0894(24)7770
2(月)	大洲ななほクリニック	0893(25)7710
3(火)	八幡浜一次救急休日・夜間診療所	0894(24)1199
8(日)	みかんこどもクリニック(八幡浜市)	0894(20)8800
9(月)	おおむら小児科(内子町)	0893(44)7117
15(日)	山下小児科(西予市)	0894(62)6801
22(日)	ごとう小児科(大洲市)	0893(23)0510
29(日)	八幡浜一次救急休日・夜間診療所	0894(24)1199

※けがなどの外科治療は、救急病院をご利用ください。

●救急病院

曜日	病院名	電話番号
月・火	市立大洲病院	0893(24)2151
水	日中：加戸病院 夜間：喜多医師会病院	0893(44)5500 0893(25)0535
木	日中：大洲記念病院 夜間：市立八幡浜総合病院	0893(25)2022 0894(22)3211
金・土	大洲中央病院	0893(24)4551
日	日中：大洲中央病院 夜間：市立八幡浜総合病院	0893(24)4551 0894(22)3211

1月の健康カレンダー

●母子保健

乳児健康診査

日	受付時間	場所	対象
17(火)	午後1時～1時15分	内子保健センター	令和4年4月・5月生まれ

2歳Comeかむ教室(むし歯予防教室)

日	受付時間	場所	対象
26(木)	午前9時30分～10時	内子保健センター	令和2年10月・11月生まれ

育児相談

日	受付時間	場所	対象
11(水)	午前9時30分～10時30分	小田保健センター	乳幼児
12(木)	午前9時30分～11時	五十崎保健センター	
16(月)		内子保健センター	

【問い合わせ】

内子町保健センター
☎0893(44)6155

住人十色

第 158 回

良き仲間、良きライバル みんなでひた走る全国への道――

西岡颯来さんそらⅡ内子20Ⅱ、土居春駆さんはるくⅡ内子19第2Ⅱ、
岩崎道也さんとやⅡ内子15Ⅱ(内子高校2年生)



◎右から400メートルハードルで優勝した西岡さん、やり投げで5位に入賞した土居さん、110メートルハードルに出場した岩崎さん。

内子高校陸上競技部の3人が愛媛県高校新人陸上大会で好成績を収め、四国大会への出場を果たしました。

400メートルハードルで優勝した西岡颯来さんが「努力が報われてうれしい。初心者だった僕らが強くなれたのは先生や先輩、仲間のおかげ」と話すように、3人が陸上を始めたのは高校生になってからでした。キャプテンの土居春駆さんは「陸上は個人競技だけど、内子高校はチームとして強い。みんないい仲間で、いいライバルだから、練習がつらいときも仲間の姿を見て頑張ろうと思える」と強さの理由を話します。「運動場を見ただけで『今日も陸上やるぞ』ってやる気が出る」と笑顔を見せる岩崎道也さんは8種競技の選手。だからだと過ごしていた生活を変えたいと入部し、努力の人になりました。

どの学校よりも冬季練習が厳しいといわれる陸上部。西岡さんは「冬を乗り越えることで自信につながるし、今よりも成長できる」とさらに上を目指します。「目標はインターハイに出場すること」と声をそろえる3人。顧問の鷺見英治先生えいじの「素質は知らない、誰よりも努力」という言葉を胸に走り続け、強い内子高校陸上競技部を引っ張ります。

編集 幸記

▽宮崎君の取材で京都へ。大学時代に過ごした地なので、懐かしいなど楽しみにしていたですが、「ここはどこ？」の状態に……
唯一残っていた「天下一品」のラーメンも味が変わっててがっかり。無性に学生時代の友人に会いたくなりました(裕)
▽作家・早見和真さんの「本を読んでいる大人は魅力的」という言葉が心に残りました。そういえば買ったまま読めていない本がたくさんあるし、息子たちに絵本も読んであげたいなあ。大人の魅力アップを図ります(史)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

